

THE
KANSAI
UNIVERSITY
NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会
大阪府吹田市山手町3丁目



ベノツォ・ゴツォリの『マギの行列』(部分)

ベノツォ・ゴツォリの『マギの行列』

フィレンツェ、パッツォ・メディチ・リツカルディ

柏木 隆夫

概して西洋美術は新年向きではない。日頃馴染みのイタリア美術に好例を求めても、主題からして新年よりはクリスマス向き、表現の主調もまた、我々の念頭にあるような『目出度さ』とは趣きを異にする。題名そのものが『春(プリマヴェーラ)』というポッティチェッリの名作もないではないが、思いめぐらしてみれば余情と陰翳に富みすぎている。いささか思案のあげく選んでみたのがこの『マギの行列』の壁画、一四五九一六一年、ベノツォ・ゴツォリ(一四二〇一九七)が、メディチ邸内のつつましやかな礼拝堂一面を填めつくしてみせた華麗な祝祭絵巻である。

『マギの行列』という主題は、やはりキリスト生誕に関わるもので、マタイ伝の『幼児の在すところ』をたずねたずねてこれを拝した『東の博士たち(マギ)』の物語から、ベツレヘムをたずねてゆく行旅の部分が独立したものであるが、この場合、それもあまり気にはならない。内陣に向かって左側の壁面を先頭に、入口側、そして右側の壁面へと連なる行列には、たしかに三人のマギに擬した人物が画かれているものの、それは各々、コンスタンチノープルの総司教ヨゼフス、東ローマ皇帝ヨハネス八世、メディチ家のロレンツォ・イル・マニフィコである。つまり主題は一種の口実という趣向であって、要は一四三九年の公会議にフィレンツェを訪れた高貴の客たちと、それを迎えたメディチ家一統の華やかな記念に他ならない。ここに掲げるのは右側の壁面で、中央右寄りに若い博士になぞらえたロレンツォ・イル・マニフィコが画かれた左の一群には、ピエロ(赤い帽子)並びにコジモ・デ・メディチ(その左の赤い頭巾)を先頭に、ミラノの君主ジャン・ガレアツォ・スフォルツァ、リミニのシジスモンド・マラテスタといったV・I・P・から、作者のベノツォ自身の姿までが画き込まれている。公会議当時にはまだ生まれていなかったロレンツォも、ここでは、既に十代に達した希望の星として重要な位置を占めているわけである。

自然模倣乃至写実という意識は、それ自体芸術家を取りまく現実の生活空間や日常への関心を刺戟するから、当時の芸術家たちは進んでその種のモチーフを作画に取入れ、或いは場面そのものの設定に利用したりした。ベノツォの場合もその例に漏れぬというか、むしろ甚だ大胆にそうした試みに挑戦した例と言える。それにしても畏るべきはベノツォの手腕で、的確な観察に基づいて活写される、殆ど無尽蔵といってもいいモチーフの豊富さには驚きを禁じ得ない。登場人物のそれぞれを画き分ける性格描写は勿論、国際ゴシック風の様式化した岩山を利用して随所にちりばめられる建造物や鳥獣植物、そして衣裳装身具をはじめとする諸々の小道具に至るまで、これでもかとばかりに惜し気もなく盛り込まれている。

しかもそうした写実の暢達さは、決して平板な事実の羅列や散文化的な味気なさに陥ってはいない。やや古風な構図法や、独特の緩急を示す行列の展開も与って力があるが、まさに即物的な描写の一つ一つが、おのずから悠揚せまらぬ快いリズムを生み出しているからである。それはなによりもまず、対象そのものを謳いあげる情感の濃やかさと、描写の歯切れのよさから生まれてくるものである。『自然を模倣する(イミタレ・ラ・ナトゥーラ)』という言葉の響きが、この場合ほど逞ましくも瑞々しい例は、さして数多くはあるまいと思われる。

(文学部教授)



お正月にふさわしく初夢の話
をしよう。明る
い土曜日の午
後、寛いだ気分
で特別講堂の座
席にすわってい
る。そこはさき
ほど大改修が行
われたらしく、内装・設備が一
新され、屋内の音響効果も素晴
らしい。今日から、関西大学建
学百周年を記念して音楽サークル
の連続演奏会が開かれること
になっている(らしい)。開演
前のわくわくした気持ちだけが
残って目が覚めた▼サークル活
動は学生の自主性にもとづいて
であり、運営や財務も『自力
更生』が原則であるのはいうま
でもない。しかし、個人の能力
や個々のサークルの力を超える
ような困難な問題もいくつか存
在しているのではないだろうか。
とくに大人数のサークルの
場合には思わぬ障害にぶつかる
ことが多い。大編成の音楽サー
クルなどでは総会やレッスンの
場所探しにも苦労するであろう
▼教師の眼から見たサークル活
動の利点の一つは、学生たちが
キャンパスの中で生活を組み立
てていく拠点をもつことにある。
一般に私学の学生は『学内
における遊牧民』の感が強い。
どこにも定着場所を持たず、授
業を追って全ての荷物を抱え教
室から教室へと流浪を続ける。
真面目に出席するほど疲れと漂
泊観念に捉えられるようになる
▼サークルは学生に部室と仲間
を与える。ささやかではあっても
学内に定着の場が生じる。そこ
から教室に図書館にかけ、
獲物を持ち帰ってくる。部室を
中心に学生たちの生活も発
展していく。定着により学生の
中に『農耕文化』への移行が生
じてくる。落ち着いた気分であ
る。落着いた気分では教
師として歓迎すべきことであ
る。

(K・K)

交流協定校から帰って



復旦大学の文庫は毛沢東の書物から、いたって

紅粉芳恵さんが入賞
第2回全日本中国語弁論大会

昨年十一月三日、第三回全日本中国語弁論大会(日本中国語学会主催)が、東京のYCCA(日本中国語学会)で開かれ、紅粉芳恵さんが入賞した。芳恵さんは、復旦大学から来た学生で、中国語の勉強が上手で、弁論の技術も高い。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。芳恵さんは、復旦大学で中国語を勉強し、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

復旦大学へ短期講学に出向いて
佐伯 哲夫

復旦大学へ短期講学に出向いて、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

忙中閑あり
遼寧大学で
西村 山治

忙中閑あり、遼寧大学で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。



紅口公園の魯迅像の前で筆者

外国人留学生のための「日本事情見学会」
木田 和雄

外国人留学生のための「日本事情見学会」を開催し、日本事情について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。



紅口公園の魯迅像の前で筆者

外国人留学生のための「日本事情見学会」
木田 和雄

外国人留学生のための「日本事情見学会」を開催し、日本事情について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。



紅口公園の魯迅像の前で筆者

外国人留学生のための「日本事情見学会」
木田 和雄

外国人留学生のための「日本事情見学会」を開催し、日本事情について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

創立一〇〇周年「来年に迫る



復旦大学の文庫は毛沢東の書物から、いたって

創立一〇〇周年「来年に迫る」
記念映画の製作準備も着々と

創立一〇〇周年「来年に迫る」記念映画の製作準備も着々と進んでいる。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

外国人管理と在日朝鮮人の処遇



復旦大学の文庫は毛沢東の書物から、いたって

外国人管理と在日朝鮮人の処遇
指紋押捺制度によせて

外国人管理と在日朝鮮人の処遇について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

文学部の紅粉芳恵さんが入賞

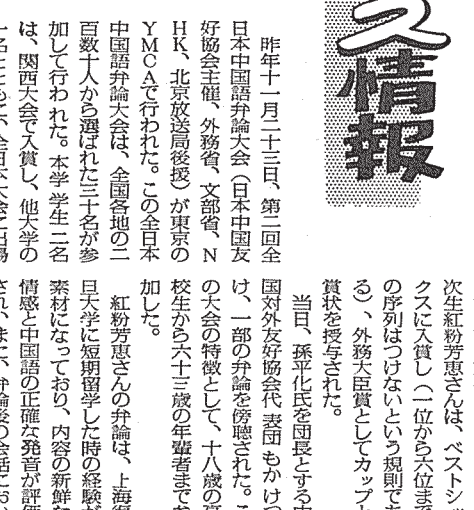


復旦大学の文庫は毛沢東の書物から、いたって

文学部の紅粉芳恵さんが入賞
第2回全日本中国語弁論大会

文学部の紅粉芳恵さんが入賞した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

「朝日」では山岡義則君が入賞



復旦大学の文庫は毛沢東の書物から、いたって

「朝日」では山岡義則君が入賞
入賞した山岡義則君

「朝日」では山岡義則君が入賞した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

外国人管理と在日朝鮮人の処遇
指紋押捺制度によせて

外国人管理と在日朝鮮人の処遇について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。入賞した作品は、「中国語の勉強の経験」で、中国語の勉強の経験や、中国語の勉強の重要性について話した。

科学のちのい

「科学のちのい」は、科学の発展に伴って、人間の生活に与える影響がますます大きくなってきている。科学は、人間の生活を豊かにし、健康を維持し、環境を保護するために不可欠な存在となっている。科学の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

科学の発展は、人間の生活に与える影響がますます大きくなってきている。科学は、人間の生活を豊かにし、健康を維持、環境を保護するために不可欠な存在となっている。科学の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

生のかたち

——生命論への一視点——

鷲田 清一

生命の起源、進化、そしてその多様性。生命は、地球の歴史の中でどのようにして誕生し、どのようにして進化してきたのか。それは、科学の最も重要な問いの一つである。生命の起源は、約40億年前に遡る。最初の生命は、原始の海洋の中で誕生したとされている。その後、生命は徐々に複雑化し、多様性を増していった。

生命の進化は、環境の変化に応じて進んでいく。自然選択の法則により、適応力のある個体が生き残り、繁殖していく。この過程を通じて、生命は多様な形態と機能を獲得していった。現代の生命は、過去の生命の進化の産物である。

生命の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な生物が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。しかし、人間活動による環境破壊は、生物多様性を脅かしている。生物多様性の保護は、人類の未来のために不可欠な課題である。

生命の起源と進化の過程は、科学者によって研究されている。化石の発見、分子生物学の進歩などにより、生命の歴史は徐々に明らかになってきている。しかし、生命の起源の謎は、依然として解明されていない。今後の研究を通じて、生命の起源と進化の謎は解明されるだろう。

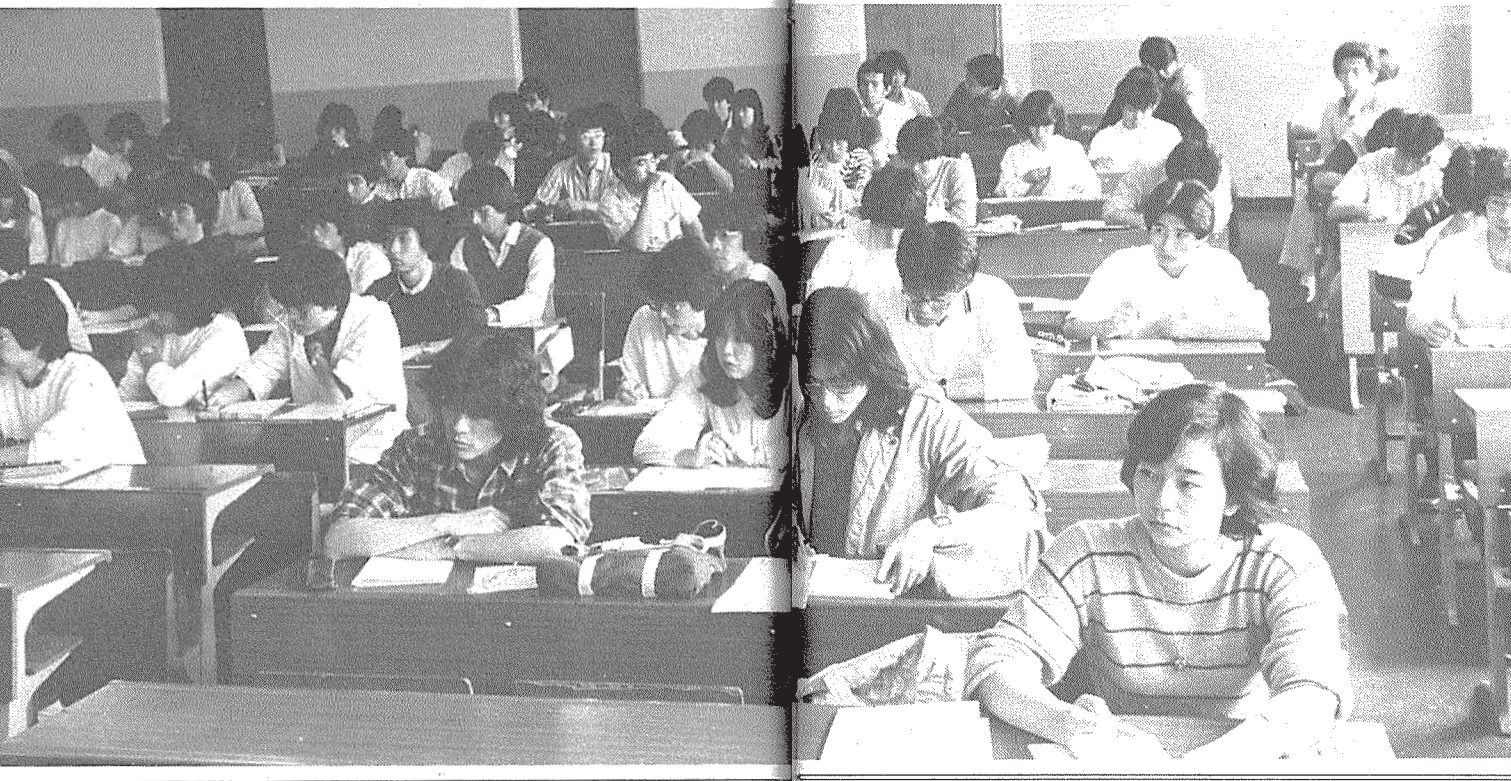
生命の多様性は、人類の健康と福祉に貢献している。多くの薬物は、自然の生物から抽出された成分から作られている。また、生物多様性は、食料の生産と環境の浄化にも重要な役割を果たしている。生物多様性の保護は、人類の健康と福祉を守るために不可欠である。

生命の起源と進化の過程は、人類の自己理解を深めるために不可欠である。生命の歴史を通じて、人類は自分たちの存在の意義と目的を再考することができる。生命の多様性は、人類の創造力と可能性を示している。生命の起源と進化の謎は、人類の未来を照らす光となっている。

生命の起源と進化の過程は、人類の自己理解を深めるために不可欠である。生命の歴史を通じて、人類は自分たちの存在の意義と目的を再考することができる。生命の多様性は、人類の創造力と可能性を示している。生命の起源と進化の謎は、人類の未来を照らす光となっている。

総合コース

本学では、全学部にていくつかの総合コースが開講されているが、来年度から新たに二つのコースが開講される。そこで来年度ご担当の先生方に各テーマ二人ずつ、それぞれご自分の担当テーマについて、内容紹介の記事を執筆していただくことにした。現在開講中の講義とあわせて、よく検討のうえ受講されたい。なお、来年度開講される全テーマについては、いずれ新学期になってから、各テーマ代表者による説明が本紙に掲載される予定である。(大西)



「身」には精神が 充滿している

技術的学問と理論的学問。この二つの学問は、人間の生活に不可欠な存在となっている。技術的学問は、人間の生活を豊かにし、健康を維持するために不可欠な存在となっている。理論的学問は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

技術的学問の発展は、人間の生活を豊かにし、健康を維持するために不可欠な存在となっている。理論的学問の発展は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。技術的学問と理論的学問は、人間の生活に不可欠な存在となっている。

技術的学問の発展は、人間の生活を豊かにし、健康を維持するために不可欠な存在となっている。理論的学問の発展は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。技術的学問と理論的学問は、人間の生活に不可欠な存在となっている。

技術的学問の発展は、人間の生活を豊かにし、健康を維持するために不可欠な存在となっている。理論的学問の発展は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。技術的学問と理論的学問は、人間の生活に不可欠な存在となっている。

技術的学問の発展は、人間の生活を豊かにし、健康を維持するために不可欠な存在となっている。理論的学問の発展は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。技術的学問と理論的学問は、人間の生活に不可欠な存在となっている。

現代社会と知識

——今大学で何を学ぶか——

現代社会は、知識の重要性を増している。知識は、人間の生活を豊かにし、健康を維持するために不可欠な存在となっている。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。

知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

なぜ知識・学問を 問わねばならないのか

渡辺 幸博

知識と学問は、人間の生活に不可欠な存在となっている。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。知識の進歩は、人間の可能性を無限に広げ、未来を明るく照らす光となっている。知識の多様性は、生態系の安定性を保つために不可欠である。多様な知識が共存することで、生態系はバランスを保ち、環境の変化に耐えられるようになる。

ミッキー・マウスの変身

中 農 晶 三

ミッキー・マウスは、世界中で愛されているキャラクターである。しかし、彼はただのキャラクターではなく、人類の歴史を象徴している存在でもある。ミッキー・マウスの変身は、人類の進化と発展の過程を象徴している。彼は、人類の創造力と可能性を示している。ミッキー・マウスの変身は、人類の未来を照らす光となっている。

ミッキー・マウスの変身は、人類の未来を照らす光となっている。ミッキー・マウスの変身は、人類の創造力と可能性を示している。ミッキー・マウスの変身は、人類の未来を照らす光となっている。ミッキー・マウスの変身は、人類の創造力と可能性を示している。

過去の過去を振り返る

無機質の過去と有機質の未来

過去の過去を振り返る。人類の歴史は、無機質の過去と有機質の未来に分かれている。無機質の過去は、人類の創造力と可能性を示している。有機質の未来は、人類の進化と発展の過程を象徴している。過去の過去を振り返ることは、人類の未来を照らす光となっている。

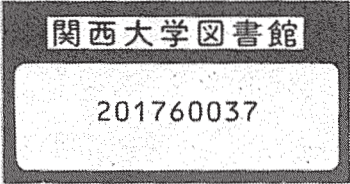
図書館だより

総合図書館は、昨年十月二十八日に竣工式が挙行政され、引続いて図書部周辺および第一グラウンドの整備工事が進められている。総合図書館の開館は四月十一日に予定されている。

移転に伴う休館と「図書館利用券」について



新しく発行される「図書館利用券」①と「Cラベル」



た、利用を予定されている図書は出来るだけ休館前までに貸出手続きをとられるようおすすめる。

情報処理センターは、昨年十月二十八日に竣工式が挙行政され、引続いて図書部周辺および第一グラウンドの整備工事が進められている。総合図書館の開館は四月十一日に予定されている。

移転に伴う休館と「図書館利用券」について

た、利用を予定されている図書は出来るだけ休館前までに貸出手続きをとられるようおすすめる。

今月11日から稼動

情報処理センター



情報処理センターの端末機室

昭和六十一年の新春から、情報処理センターは新しい建物で業務を始めた。

旧来からの施設は既に極めて手狭の状態が長年続いており、あまたの機器を増設する余裕もない状態であった。このため、総合図書館の開館よりひと月と少し早く、すてに新年の一月十一日より正式運用に入っている。

昭和六十一年の新春から、情報処理センターは新しい建物で業務を始めた。旧来からの施設は既に極めて手狭の状態が長年続いており、あまたの機器を増設する余裕もない状態であった。このため、総合図書館の開館よりひと月と少し早く、すてに新年の一月十一日より正式運用に入っている。

地下1階と2階に全ての施設を収容

建設中であった「総合図書館」の事務棟の地下1階と地下2階部分

地下1階と2階に全ての施設を収容

建設中であった「総合図書館」の事務棟の地下1階と地下2階部分

建設中であった「総合図書館」の事務棟の地下1階と地下2階部分

建設中であった「総合図書館」の事務棟の地下1階と地下2階部分

建設中であった「総合図書館」の事務棟の地下1階と地下2階部分

建設中であった「総合図書館」の事務棟の地下1階と地下2階部分

建設中であった「総合図書館」の事務棟の地下1階と地下2階部分

Wisconsin University advertisement featuring a photo of Bascom Hall and text about the university's location and facilities.

Wisconsin University advertisement featuring a photo of Bascom Hall and text about the university's location and facilities.

新刊紹介

法学部教授 明石三郎著 『不動産売買法』 (法律文化社・二〇〇〇円)

大規模な開発用地から軽微な土地まで、市民が居住する家賃を定める場合でも、何千万円から億単位の大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。

市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

本書の「不動産の取引」という章で、不動産取引の法的な側面から、市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

法学部教授 明石三郎著 『不動産売買法』 (法律文化社・二〇〇〇円)

大規模な開発用地から軽微な土地まで、市民が居住する家賃を定める場合でも、何千万円から億単位の大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。

市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

本書の「不動産の取引」という章で、不動産取引の法的な側面から、市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

法学部教授 明石三郎著 『不動産売買法』 (法律文化社・二〇〇〇円)

大規模な開発用地から軽微な土地まで、市民が居住する家賃を定める場合でも、何千万円から億単位の大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。

市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

本書の「不動産の取引」という章で、不動産取引の法的な側面から、市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

法学部教授 明石三郎著 『不動産売買法』 (法律文化社・二〇〇〇円)

大規模な開発用地から軽微な土地まで、市民が居住する家賃を定める場合でも、何千万円から億単位の大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。

市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

本書の「不動産の取引」という章で、不動産取引の法的な側面から、市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

法学部教授 明石三郎著 『不動産売買法』 (法律文化社・二〇〇〇円)

大規模な開発用地から軽微な土地まで、市民が居住する家賃を定める場合でも、何千万円から億単位の大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。

市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

本書の「不動産の取引」という章で、不動産取引の法的な側面から、市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

法学部教授 明石三郎著 『不動産売買法』 (法律文化社・二〇〇〇円)

大規模な開発用地から軽微な土地まで、市民が居住する家賃を定める場合でも、何千万円から億単位の大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。そのような大金を動かす。

市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。

本書の「不動産の取引」という章で、不動産取引の法的な側面から、市民が不動産売買にかかわるとも多し、日頃からの法的知識を身に付けておくことは重要である。さらに、不動産売買は複雑な法律問題を含むから、学生諸君が大学で学んだ民法や行政法の体系的知識を、不動産売買というテーマについて、応用し組み立てることができる。